



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
 コード番号 6186 URL <https://www.ichikura.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 岡田 孝二 (TEL) 03-5297-5151
 (代表)
 定時株主総会開催予定日 2026年6月23日 配当支払開始予定日 2026年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	19,446	△2.4	△129	—	△85	—	△1,441	—
2025年3月期	19,932	△2.4	123	△53.7	105	△68.2	△96	—
(注) 包括利益	2026年3月期		△1,592百万円(—%)		2025年3月期		△0百万円(—%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△260.93	—	△40.7	△0.5	△0.7
2025年3月期	△17.58	—	△2.2	0.5	0.6

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	17,593	2,712	15.4	490.65
2025年3月期	20,000	4,376	21.9	793.80

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,712百万円 2025年3月期 4,376百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,291	528	△1,548	1,304
2025年3月期	548	△1,092	89	978

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	77	—	1.7
2026年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	77	—	2.2
2027年3月期(予想)	—	7.00	—	8.00	15.00		46.7	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,206	3.9	331	—	302	—	177	—	32.10

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	5,531,006株	2025年3月期	5,516,335株
② 期末自己株式数	2026年3月期	2,706株	2025年3月期	2,678株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	5,522,613株	2025年3月期	5,513,657株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	18,407	△0.8	178	△21.8	235	7.8	△1,664	—
2025年3月期	18,553	△1.2	227	△19.8	218	△37.5	21	△96.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	△301.48		—					
2025年3月期	3.83		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	18,384	2,899	15.8	524.40
2025年3月期	20,829	4,635	22.3	840.72

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,899百万円 2025年3月期 4,635百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

2026年5月20日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年4月1日～2026年3月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で米国の通商政策の影響に加え、エネルギー価格および原材料価格の高止まりに伴う物価上昇や、それによる消費者の節約志向の高まりなどから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「日本文化をもっと身近にする」、「私たちのおもてなしを世界に広げる」、「世の中を楽しく変えていく」の経営理念のもと、組織構造の効率化によるコスト削減と、顧客拡大による安定収益の確保に努めてまいりました。

(和装事業)

和装事業におきましては、運営体制を一元化し業務運営の効率化とコスト体質の改善を図るため、JTS事業本部とオンディーンズ事業本部を「和装事業本部」に統合いたしました。2025年10月には「伝統×革新」をテーマとした新ブランド「one&only Grace」を発表し、振袖の新たなスタイル提案を行ったほか、2025年11月には当期で5回目となるきものコンテスト「Universal Kimono Award 2025」を幕張メッセにて開催するなど、きもの文化の発信に努めてまいりました。また、重点施策として取り組んでまいりましたプライベートブランド商品が好調に推移したこと、事業部統合による人的資源の重点配置等により、当連結会計年度における受注は堅調に推移いたしました。一方で、振袖の購買層が高校生を中心とした若年層へとシフトしたことに伴い、顧客ニーズが「購入」から「レンタル」へ移行し、当初の想定を上回ってレンタル比率が上昇いたしました。これにより、売上がレンタルの契約期間にわたり按分されることとなりました。これらの結果、和装事業の売上高は14,984,306千円(前期比1.9%減)、セグメント利益は764,998千円(前期比24.6%減)となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は、5,962,026千円(前連結会計年度末比15.9%増)となっております。

(ウエディング事業)

ウエディング事業におきましては、国内では、WEB広告やSNSによる情報発信の強化による集客力・成約率の向上、およびコスト削減による利益率の向上に取り組んでまいりました。また、式場で各種イベントを開催することにより将来の顧客接点の拡大を図ることに努めてまいりました。これらの結果、国内のセグメント利益は前連結会計年度を上回る結果となりました。一方、中国におきましては、景気動向の影響および若年層の消費マインドの低下等により結婚式需要が低迷し施行組数が減少いたしました。さらに、価格競争の激化も相まって、1組当たりの施行単価が減少し、中国の売上高、セグメント利益共に前連結会計年度を下回る結果となりました。これらの結果、ウエディング事業の売上高は4,462,016千円(前期比4.3%減)、セグメント損失は154,770千円となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残組数は、917組(前連結会計年度末比0.3%減)となっております。

(全社)

上記の結果、当連結会計年度の業績は、売上高19,446,323千円(前期比2.4%減)、営業損失129,975千円(前期は営業利益123,353千円)、経常損失85,385千円(前期は経常利益105,507千円)、また、中国子会社において固定資産の減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は1,441,014千円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失96,945千円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は17,593,584千円(前連結会計年度末比12.0%減)となりました。

流動資産の残高は10,493,220千円(前連結会計年度末比2.0%増)となりました。これは主に売掛金が81,509千円、商品が72,399千円、仕掛品が71,814千円減少した一方で、現金及び預金が522,089千円増加したことによります。

固定資産の残高は7,100,364千円(前連結会計年度末比26.9%減)となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が1,617,991千円、土地が456,669千円、建設仮勘定が362,661千円、敷金及び保証金が67,738千円、繰延税金資産が63,648千円減少したことによります。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債は14,881,124千円(前連結会計年度末比4.8%減)となりました。

流動負債の残高は12,653,970千円(前連結会計年度末比1.5%減)となりました。これは主に前受金が853,252千円増加した一方で、短期借入金が860,000千円、1年内返済予定の長期借入金が84,721千円、その他が30,495千円減少したことによります。

固定負債の残高は2,227,153千円(前連結会計年度末比20.0%減)となりました。これは主に長期借入金が508,014千円減少したことによります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は2,712,460千円(前連結会計年度末比38.0%減)となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失1,441,014千円を計上したこと、為替換算調整勘定が151,815千円減少したこと、配当金77,191千円を支払ったことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,304,097千円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は1,291,704千円となりました。これは主に税金等調整前当期純損失1,333,415千円、固定資産売却益176,809千円があった一方で、減価償却費575,150千円、減損損失1,306,524千円、前受金の増加額850,138千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は528,510千円となりました。これは主に定期預金の預入による支出1,515,216千円、固定資産の取得による支出326,598千円があった一方で、定期預金の払戻による収入1,318,926千円、固定資産の売却による収入1,035,595千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,548,920千円となりました。これは主に長期借入れによる収入100,000千円があった一方で、短期借入金の純減少額860,000千円、長期借入金の返済による支出692,735千円、配当金の支払額77,187千円があったことによります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、和装事業では、業務運営の効率化、コスト体質の改善を図るとともに、プライベートブランド商品の更なる強化、きもの着方教室「いち瑠」の強化、加盟店の開拓強化等、ウエディング事業では、フォトスタジオの新設など写真関連事業の強化、中国ウエディング事業の改善等、各種施策を推進してまいります。

通期の業績予想といたしましては、売上高20,206百万円、営業利益331百万円、経常利益302百万円、親会社株主に帰属する当期純利益177百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（I F R S）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,766,169	5,288,259
売掛金	982,852	901,343
商品	2,075,817	2,003,418
レンタル商品	1,359,986	1,409,391
仕掛品	466,264	394,449
原材料及び貯蔵品	126,834	78,663
その他	585,349	417,694
貸倒引当金	△73,480	—
流動資産合計	10,289,794	10,493,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,687,553	4,069,561
土地	1,320,750	864,081
建設仮勘定	364,691	2,030
その他（純額）	239,580	195,189
有形固定資産合計	7,612,576	5,130,863
無形固定資産		
ソフトウェア	99,663	108,160
その他	79,191	73,685
無形固定資産合計	178,855	181,846
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
出資金	20	20
長期未収入金	—	146,960
敷金及び保証金	1,314,052	1,246,313
繰延税金資産	496,478	432,830
その他	9,056	8,489
貸倒引当金	—	△146,960
投資その他の資産合計	1,919,607	1,787,654
固定資産合計	9,711,039	7,100,364
資産合計	20,000,834	17,593,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	819,690	771,507
短期借入金	4,040,000	3,180,000
1年内返済予定の長期借入金	677,732	593,011
未払金	447,333	439,652
未払費用	332,552	321,131
未払法人税等	44,843	44,120
前受金	6,160,487	7,013,739
預り金	61,057	64,216
賞与引当金	1,320	1,200
その他	255,888	225,392
流動負債合計	12,840,905	12,653,970
固定負債		
長期借入金	1,255,959	747,945
資産除去債務	477,946	469,585
繰延税金負債	1,033	864
退職給付に係る負債	630,350	677,291
その他	417,898	331,467
固定負債合計	2,783,187	2,227,153
負債合計	15,624,092	14,881,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	52,875
資本剰余金	1,978,533	1,981,408
利益剰余金	2,152,732	634,526
自己株式	△17	△27
株主資本合計	4,181,247	2,668,782
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	195,493	43,677
その他の包括利益累計額合計	195,493	43,677
純資産合計	4,376,741	2,712,460
負債純資産合計	20,000,834	17,593,584

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	19,932,772	19,446,323
売上原価	7,313,310	7,161,478
売上総利益	12,619,461	12,284,845
販売費及び一般管理費	12,496,108	12,414,820
営業利益又は営業損失(△)	123,353	△129,975
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,525	7,934
受取手数料	1,699	1,867
受取補償金	6,483	—
為替差益	—	109,425
その他	14,317	11,765
営業外収益合計	33,025	130,992
営業外費用		
支払利息	39,405	51,101
為替差損	8,502	—
その他	2,963	35,300
営業外費用合計	50,871	86,402
経常利益又は経常損失(△)	105,507	△85,385
特別利益		
固定資産売却益	964	176,809
投資有価証券売却益	36,840	—
特別利益合計	37,804	176,809
特別損失		
固定資産除却損	16,937	44,835
減損損失	32,980	1,306,524
貸倒引当金繰入額	73,480	73,480
特別損失合計	123,397	1,424,839
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	19,914	△1,333,415
法人税、住民税及び事業税	44,843	44,120
法人税等調整額	72,017	63,479
法人税等合計	116,860	107,599
当期純損失(△)	△96,945	△1,441,014
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△96,945	△1,441,014

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△96,945	△1,441,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,245	—
為替換算調整勘定	132,355	△151,815
その他の包括利益合計	96,110	△151,815
包括利益	△835	△1,592,830
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△835	△1,592,830
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,978,533	2,404,060	△17	4,432,575
当期変動額					
剰余金の配当			△154,382		△154,382
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△96,945		△96,945
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△251,328	—	△251,328
当期末残高	50,000	1,978,533	2,152,732	△17	4,181,247

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	36,245	63,137	99,383	4,531,959
当期変動額				
剰余金の配当				△154,382
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△96,945
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△36,245	132,355	96,110	96,110
当期変動額合計	△36,245	132,355	96,110	△155,217
当期末残高	—	195,493	195,493	4,376,741

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,978,533	2,152,732	△17	4,181,247
当期変動額					
新株の発行	2,875	2,875			5,751
剰余金の配当			△77,191		△77,191
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,441,014		△1,441,014
自己株式の取得				△10	△10
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	2,875	2,875	△1,518,205	△10	△1,512,465
当期末残高	52,875	1,981,408	634,526	△27	2,668,782

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	195,493	195,493	4,376,741
当期変動額			
新株の発行			5,751
剰余金の配当			△77,191
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,441,014
自己株式の取得			△10
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△151,815	△151,815	△151,815
当期変動額合計	△151,815	△151,815	△1,664,281
当期末残高	43,677	43,677	2,712,460

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	19,914	△1,333,415
減価償却費	544,537	575,150
減損損失	32,980	1,306,524
貸倒引当金の増減額(△は減少)	73,480	73,480
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,913	46,940
賞与引当金の増減額(△は減少)	30	△120
受取利息及び受取配当金	△10,525	△7,934
支払利息	39,405	51,101
為替差損益(△は益)	8,502	△109,425
投資有価証券売却損益(△は益)	△36,840	—
固定資産除却損	16,937	44,835
固定資産売却損益(△は益)	△964	△176,809
売上債権の増減額(△は増加)	95,228	81,509
棚卸資産の増減額(△は増加)	△29,302	143,079
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,801	△51,961
未払消費税等の増減額(△は減少)	34,215	109,044
前受金の増減額(△は減少)	△84,343	850,138
未払費用の増減額(△は減少)	—	△14,853
その他	30,256	△210,730
小計	624,797	1,376,554
利息及び配当金の受取額	11,349	7,934
利息の支払額	△41,786	△47,679
法人税等の支払額	△45,411	△45,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	548,949	1,291,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,054,031	△1,515,216
定期預金の払戻による収入	1,690,626	1,318,926
固定資産の取得による支出	△826,270	△326,598
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
投資有価証券の売却による収入	48,940	—
固定資産の売却による収入	3,141	1,035,595
貸付金の回収による収入	2,490	166
投資有価証券の償還による収入	200,000	—
その他	△57,222	15,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,092,325	528,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	740,000	△860,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△674,786	△692,735
リース債務の返済による支出	△21,885	△18,988
自己株式の取得による支出	—	△10
配当金の支払額	△154,317	△77,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	89,010	△1,548,920
現金及び現金同等物に係る換算差額	70,694	54,504
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△383,672	325,799
現金及び現金同等物の期首残高	1,361,969	978,297
現金及び現金同等物の期末残高	978,297	1,304,097

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数

2社

連結子会社の名称

株式会社京都きもの学院

璨臻（上海）婚慶礼儀服務有限公司（英訳名：CANZHEN（SHANGHAI） WEDDING SERVICES CO.,LTD.）

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、璨臻（上海）婚慶礼儀服務有限公司（英訳名：CANZHEN（SHANGHAI） WEDDING SERVICES CO.,LTD.）の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、運営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業別のセグメントから構成されており、提供する商品、サービス等を考慮した上で集約し、「和装事業」「ウエディング事業」の2つを報告セグメントとしております。

「和装事業」は、呉服等の販売、振袖等の販売・レンタル、成人式の前撮り写真撮影サービス、成人式当日の着付けおよびメイクサービス、きもの着方教室の運営等を行っております。

「ウエディング事業」は、結婚式場「キャメロットヒルズ」(埼玉県さいたま市北区)、「グラストニア」(愛知県名古屋市中区)、「百花籠」(愛知県名古屋市中区)、「ネオス・ミラベル」(山梨県笛吹市)、「嘉美麗徳高端婚礼会館大塚店(英訳名:Camelot-Hills Shanghai Daning)」(上海市静安区)、「嘉美麗徳高端婚礼会館虹橋店(英訳名:Camelot-Hills Shanghai Hongqiao)」(上海市閔行区)、フォトスタジオ「Studio Merlin」(埼玉県さいたま市北区)等の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントごとの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
	和装事業	ウエディング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,270,448	4,662,324	19,932,772	—	19,932,772
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,270,448	4,662,324	19,932,772	—	19,932,772
セグメント利益又は損失(△)	1,014,356	△124,010	890,345	△766,992	123,353
セグメント資産	6,898,750	7,103,445	14,002,195	5,998,638	20,000,834
その他の項目					
減価償却費	168,439	350,845	519,285	25,251	544,537
レンタル商品の償却	485,370	27,897	513,268	—	513,268
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	234,911	347,245	582,156	5,407	587,564

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であり本社管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額は、本社管理部門の資産であります。

(3) その他の項目(減価償却費)の調整額は、本社管理部門の減価償却費であります。

(4) その他の項目(有形固定資産及び無形固定資産の増加額)の調整額は、本社管理部門の増加額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,984,306	4,462,016	19,446,323	—	19,446,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,984,306	4,462,016	19,446,323	—	19,446,323
セグメント利益又は損失(△)	764,998	△154,770	610,227	△740,202	△129,975
セグメント資産	6,581,464	4,942,967	11,524,432	6,069,152	17,593,584
その他の項目					
減価償却費	172,491	381,382	553,874	21,276	575,150
レンタル商品の償却	507,454	31,411	538,866	—	538,866
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	251,271	61,591	312,863	446	313,309

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であり本社管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、本社管理部門の資産であります。
 - (3) その他の項目(減価償却費)の調整額は、本社管理部門の減価償却費であります。
 - (4) その他の項目(有形固定資産及び無形固定資産の増加額)の調整額は、本社管理部門の増加額であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益計算書の営業損失と調整しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	販売売上	レンタル売上	ウエディング 売上	加工売上 (注)1	写真売上	その他 (注)2	合計
外部顧客への売上高	7,916,843	2,179,712	4,662,324	1,614,269	2,875,718	683,904	19,932,772

(注) 1. 「加工売上」には、販売売上及びレンタル売上等に係る仕立て加工に関する売上を計上しております。
2. 「その他」には、きもの着方教室の受講料等を計上しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	合計
6,149,003	1,463,572	7,612,576

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	販売売上	レンタル売上	ウエディング 売上	加工売上 (注)1	写真売上	その他 (注)2	合計
外部顧客への売上高	6,987,969	2,617,798	4,462,016	1,493,346	3,242,225	642,967	19,446,323

(注) 1. 「加工売上」には、販売売上及びレンタル売上等に係る仕立て加工に関する売上を計上しております。
2. 「その他」には、きもの着方教室の受講料等を計上しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	その他(注)	連結財務諸表計上額
減損損失	32,980	—	—	32,980

(注) 「その他」の金額は、本社管理部門に係るものであります。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	その他(注)	連結財務諸表計上額
減損損失	63,203	1,243,321	—	1,306,524

(注) 「その他」の金額は、本社管理部門に係るものであります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	793.80円	490.65円
1株当たり当期純損失(△)	△17.58円	△260.93円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,376,741	2,712,460
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,376,741	2,712,460
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,513,657	5,528,300

3. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△96,945	△1,441,014
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△96,945	△1,441,014
普通株式の期中平均株式数(株)	5,513,657	5,522,613

(重要な後発事象)

該当事項はありません。